

# 平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号 20

## I 自己評価

1 学校教育目標	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。	
2 評価する領域・分野	◇進路指導	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校卒業後は、約90%の生徒が上級学校（大学・短大・専門学校）へ進学しており、入試形態もAO入試や指定校推薦を利用するのではなく、一般試験（推薦含）で進学する生徒の割合が約60%に上昇している。</li> <li>保護者対象のアンケートでは、「生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしてくれる」への評価が76.7%から82.2%へ、「進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている」への評価が85.8%から89%へと増加している。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇生徒の発達の段階に応じたキャリア教育を推進する。 ◇望ましい勤労観・職業観を生徒自ら形成・確立できるようにする。 ◇将来の夢や希望の実現に向けて主体的に進路選択ができるようにする。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路指導委員会</li> <li>教育課程委員会</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 組織的、計画的な進路指導体制を確立する。卒業後も見通した全体計画、年間指導計画となるよう工夫改善する。 (2) 体験的な学習や外部の教育力を活用する。 (3) 情報提供や説明及びそれらに基づいた学習等のガイダンスの機能を充実する。	(1) アンケート調査における満足度及び進路希望調査。 (2) 事前指導・事中指導・事後指導の充実度、生徒による自己評価と総括（事後報告書）。 (3) アンケート調査における満足度。	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>学年に応じた様々な進路ガイダンスや専門の外部講師による進路講演会の実施</li> <li>進路適性検査の実施とその活用法について生徒だけでなく、教員向け説明会の実施</li> <li>インターンシップへの積極的参加</li> <li>進学、看護、就職希望者それぞれに対応した各種外部模試の実施</li> <li>全学年対象の小論文指導と模試の実施</li> <li>全学年対象の「スタディサプリ」の募集とそれに伴う「到達度テスト」の活用</li> <li>公募制推薦希望者に対する全校指導体制の充実</li> <li>平日、週末、長期補習の実施</li> <li>就職希望者に向けた外部講師による複数回の就職講演会や面接指導の実施</li> </ul>	① 生徒が自らの在り方や生き方について考えることができたか。 ② 将来に対する目的意識を持つことができたか。 ③ 生徒の実態にあった指導であったか。 ④ 適切な情報提供をすることができたか。	<input checked="" type="checkbox"/> A B C D A <input type="checkbox"/> B C D <input checked="" type="checkbox"/> A B C D A <input type="checkbox"/> B C D

11 成 果 ・ 課 題	<p>○池田町キャリア教育推進事業から様々な支援を得たことで、質の高い専門の外部講師を招き、学年ごとに発達段階に応じた進路講話を複数回実施することで生徒達のキャリア教育の推進を図った。</p> <p>○系統だった学年向け進路ガイダンスを今年度は保護者にも開放し、参観していただく機会を設けた。ガイダンス後は、専門講師による保護者向け進路講話を実施することで進路選択の一助となった。</p> <p>○看護系進学希望者に対する複数回の講座に加え、校内における小論文や面接指導の充実により公立の難関看護大学や専門学校に複数名が合格した。</p> <p>○3年生だけではなく、全学年対象に「スタディサプリ」の募集をし、100名を上回る登録者を得た。それに伴い無料で「学習到達度テスト」の実施が可能となり、生徒個々の苦手分野の把握と対策を立てることができた。</p> <p>○公募制推薦入試を利用する生徒を対象に、担任だけではなく全職員による小論文や面接指導を充実させることで難関大学への合格者を増やした。</p> <p>○就職希望者を対象に、4月当初から志望理由書講座を始めとし、専門の外部講師による面接対策講座を複数回実施することで岐阜県警2名を含む18名の内定者を得た。</p> <p>▲土曜補習に関しては、「スタディサプリ」の平日補習分を土曜補習にまとめたことで講座数が倍増し、補習終了が夕方までかかり生徒の負担となった。</p> <p>▲3年生向け進路ガイダンスの時期が7月と遅く、オープンキャンパス等で志望校の情報を既に得ている生徒が大勢いた。</p>	<p>総 合 評 価</p> <p>A <input checked="" type="checkbox"/> B C D</p>
12	<p>来年度に向けての改善方策案</p> <p>生徒が自ら主体的に進路選択ができるよう、進路ガイダンスをはじめ、進路講話、インターンシップ等、学年ごとに系統だったキャリア教育を推進した。例え年度途中であっても生徒の進路実現にとって有益となりそうな企画については、積極的にそれを取り入れ実施した。</p> <p>来年度は、本校はESDを根底とした様々な教育活動を実践しているので、その体験を最大限生徒の進路実現に活用できる体制づくりを構築したい。そして「福祉のまちづくりを進める地域や生徒・保護者の期待に沿えるよう、今年度の看護・医療系の進学成果を来年度も是非継続させたい。専門の外部講師による複数回の講座を始めとし、校内における小論文や面接指導体制の更なる充実化を図りたい。土曜補習「スタディサプリ」の実施方法については、講座内容を各教科と連携のうえ精選することで生徒の負担を減らしたい。3年生の進路ガイダンスについては、時期を5月に早め、今までとは異なる方式で実施することで、生徒の進路意識の高揚を図りたい。生徒達が自己有用感を得られるような様々な機会を今以上に設定し、その先の進路実現に向けて一助となるようなキャリア教育の計画的・組織的・継続的な促進を図っていきたい。</p>	

## II 学校関係者評価

実施年月日：平成29年2月16日

### 【意見・要望・評価等】

- 小論文指導については、積極的に新聞を読む様にするとういとめます。
- 卒業後の進路については選択肢が多く、受験方法も様々なので先生方の指導も大変と感じる。また、情報があふれているので、いかに自分を知り、自分の将来をみつめることができるかが大切と考える。そのために、高校3年間で多くの体験をしてほしい。書類や映像ではなく、多くの人と出会うような体験が一番だと思う。そのような機会、場所を多く提供してほしい。
- 今後の産業構造の転換を見据えた進路指導に期待します。又、「福祉のまち池田町」で期待される人材育成は今後ますます重要になっていくと思う。生徒の特性や興味をしっかりと見て、働ける人への基礎力を身につける指導を期待する。
- 保護者対象のアンケートで、進路指導に関しての評価が増加していることは良かった。キャリア教育の推進は素晴らしいと思う。